



青葉みらいづくり大学校 2024

第1回 ヨコハマの地域活動の「今」を知り「これから」を語り合おう！

日 時：10月5日（土）10:00～13:00

場 所：青葉区役所 4階会議室

日 程：令和6年10月5日・10月19日・11月9日
11月30日・12月21日（土曜日/全5回）

主 催：青葉区役所・NPO 法人まちラボ

協 力：青葉区連合自治会長会

講 師・コーディネーター：大越 雅美
(NPO 法人まちラボ代表理事)

第1回プログラム

- 開講式 式辞・プログラム紹介
- 講義
- 自己紹介ワーク
- グループワーク



青葉みらいづくり大学校 2024 概要

テーマ

地域活動の「できたらいいな」を実現しよう！

青葉みらいづくり大学校 2024（以下、みらい大）は、地域活動の裾野を広げるために「参加したくなる」地域活動について探求し、「できたらいいな」を実現するための講座です。地域活動の楽しさや悩みを共有しながら、受講生同士の交流を深めた第1回、事例発表からたくさんの刺激を受けた第2回、学生と語り合い、お互いの価値観に触れた第3回、地域で実現したい事業プランを形にしていた第4回、そして地域の方々へ「マイプラン」を発表した第5回。5回の講座を通じて、自分たちがいいなと思う地域について学びを深めることができました。

できたら
いいな！

Check !

- 地域活動に関心を持つ人を増やしたい
- 地域のつながりを深めたい
- 多世代交流を図りたい
- 地域の魅力を伝えたい
- 地域が好きな人を増やしたい
- 地域活動を楽しむ人を増やしたい

開講式

久保田学長（青葉区連合自治会長会会長）、中島副学長（青葉区長）からご挨拶があり、来賓の方から応援メッセージをいただきました。また、受講生から受講の抱負を発表しました。



久保田学長からご挨拶



抱負を発表する受講生の皆さん

第1回 概要

みらい大で一緒に学ぶ仲間と出会う。

横浜市の地域活動の「今」を知り、「これから」地域で実践したいことについて話し合う。

講義1：地域活動の今を知りこれからは生かそう

- ・ 地域活動とは
- ・ 自治会町内会の主な活動と課題
- ・ 社会の変容と地域活動
- ・ 持続可能な地域活動を実現するために…
- ・ 今年のみらい大
- ・ マイプランで描く地域活動の未来



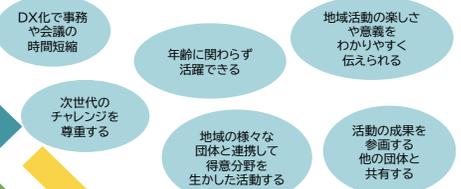
社会の変化と地域活動

社会の変化に伴う、ひとり暮らしや女性・高齢者雇用の増加などにより地域コミュニティに関わる機会や時間が減少しているのではないが

出典 「地域コミュニティに関する研究会報告書」

横浜市の地域活動の取組とその課題、課題の原因と想定される社会や市民意識の変化についてデータを確認しながら仮説を立て、地域活動への参加が難しくなっている状況を共有しました。住民が「参加しやすい」持続可能な活動にするためのアイデアや、昨年度までのみらい大生のマイプラン事例をもとに、マイプランを作成する中で取り入れていきたい視点も提案しました。

みらい大卒業生が教えてくれた 参加したくなる地域活動のコツ



講義2：みらい大生のための青葉区データ紹介

青葉区を知るために、区の様々な統計情報などを集めた「なるほどあおば」「青葉区区民意識調査」「青葉区地区別データ集」「青葉区まちづくり指針」などのデータ概要と検索方法を紹介しました。

自己紹介ワーク：私の取扱説明書

得意なこと、苦手なこと、趣味などを書いた「私の取扱説明書」を使い自己紹介ワークを行いました。受講生の意外な一面や共通点など、お互いを知ることができました。

グループワーク：自分の住む地域について話そう

地域活動の楽しさ、それぞれの地域で課題だと感じることを、講座で取り組みたいことを書き出し共有しました。

■ 受講生の意見（抜粋）

1. 地域活動で感じる喜び・楽しさ・やりがい

- ・ いろんな人と知り合える、ご縁ができる
- ・ 「ありがとう」の感謝の言葉
- ・ お祭りブースの企画の成功
- ・ いろんな人の協力があり支えられている地域だと感じた



意見をふせんに書き出し！

2. 地域の課題になっていることや取り組みたいこと

- ・ 参加する人が固定化している。少しずつでも参加の機会を作る、運営のやり方やルールを柔軟に変える
- ・ 若い世代は多忙で自己完結していることが多いが、声を出せる機会を作る
- ・ 社会が変容している中で、置き去りにされている人の役に立ちたい





青葉みらいづくり大学校 2024

第2回 他地区の事例を知り運営のコツに迫ろう！

日 時：10月19日（土）10:00～13:00

場 所：青葉区役所4階会議室

第2回 概要

自治会町内会とNPOや地域のクラブが協力・連携して活動している事例を知る。

各団体が活動にあたり工夫していることや、運営のコツ、上手くいったプロセスを学び、理解を深める。

第2回プログラム

- 事例発表1
- 事例発表2
- パネルトーク
- グループトーク



事例発表1：すみれ夏祭り（おやじクラブ × 小学校 × 自治会町内会）

すみれ夏祭り実行委員会

小野崎 さん、佐々木 さん、清水 さん

■ すみれ夏祭り実行委員会（都筑区）の紹介

高齢化が進み実施が困難になっていた夏祭りの運営を町内会から引き継いで以降、14年間にわたりすみれ夏祭りの運営をしてきた実行委員会。すみれが丘小学校おやじクラブのメンバーを中心に、有志のお母さんや卒業生が、子どもたちに地域の祭りを楽しんでもらいたいと、毎年趣向を凝らした内容で開催している事例を紹介されました。

■ 発表内容

- ・ 実行委員会と小学校、町内会、地域で連携しながら運営している
- ・ 有志による完全ボランティア運営、希望する9つの分科会で役割を分担する
- ・ 会議は対面とリモートの併用で土曜早朝に開催。忙しいお父さん、お母さんも参加でき、家族との時間も確保できる
- ・ チラシなどには、協賛してくださった方の氏名掲載。祭りで使えるクーポンなどで感謝を形にする
- ・ 当日は本部として楽しみながら参加し、夏祭りPVを製作し、後日メンバーで上映会も実施



2024 夏祭りのチラシ



「すみれ夏祭り」の発表は、祭りの準備や当日の様子をドキュメンタリー番組を思わせるPVで紹介し、単なる記録以上の映像作品になっていました。自分たちが楽しむというスタイルを取り入れたことで、主催者も参加者も盛り上がる毎年恒例の大きなイベントとなっています。祭り以外のつながりもでき、継続的な交流も生まれている素敵な事例でした。



すみれ夏祭り

事例発表2：すすき野たまりんば（NPO×自治会町内会）

NPO 法人すすき野たまりんば
依藤 さん、近藤 さん

**■NPO 法人すすき野たまりんば（青葉区）の紹介**

1973年に青葉区の住宅地として開発され、昨年50周年を迎えた「すすき野地区」。その中心地に地域の人々の憩いの場「すすき野たまりんば」があります。地域課題から生まれた開設への思いと次の夢に向かっての思いを紹介されました。

■発表内容

- ・「すすき野地区地域福祉保健計画」で、「地域に常時集える居場所づくり」が目標として掲げられ、賛同有志（青葉区福祉保健課、青葉区社会福祉協議会、福祉団体等）による検討会を経て5年をかけて設立した。
- ・開設当初は、地域交流や、福祉・子育てなどの各種相談、地域ボランティアとの連携や対応、喫茶、軽食の提供などを理想としていた。今後は、各種団体や行政機関との連携をさらに強め、相談窓口の強化や、社会福祉法人との連携から、在宅医療や看護相談、健康増進などにも活動を広げていきたい。

地域ケアプラザがなかったすすき野地区に地域の方々が集い、情報交換やお困りごとのよろず相談ができる憩いの場所をつくりたいとの思いから、根気よく協議を重ね、地域の方々と協力して実現させたプロセスと10年以上、毎日運営し続ける仕組みづくり、コツなど多くのアイデアに驚かされました。

**パネルトーク：発表団体に質問****すみれ夏祭り実行委員会**

Q. おやじクラブに誘う時の声かけは？

A. 男性が大人になってから地域に新たな友達を作るのは難しいとの声を聞くが、「地元で友達ができるよ」と声をかけることで、気軽に楽しみながら参加されるメンバーが増えている。近くに仲間がいることは心強い。

NPO 法人すすき野たまりんば

Q. 利用する方の居住エリアは？

A. すすき野地区の住民だけでなく、近隣の川崎市を含め、広域の方が利用している。たまりんばに隣接するスーパーの利用者も多い。

グループトーク：気になることを聞いてみよう！

2つのグループに分かれ、途中グループをシャッフルして、気になることや運営のコツなどを質問しました。

Q. 活動を継続させるコツは？

A. おやじクラブには卒業がない。主に現役世代が企画しOBがサポートしている。

Q. 高齢の方から相談された時の対応は？

A. たまりんばの運営メンバーで解決が難しいものは、内容に応じて適切な相談先につないでいる。



NPO 法人すすき野たまりんば



すみれ夏祭り実行委員会

Q. 夏祭り実行委員会の運営ルールは？

A. 強制しないのがルール。参加できるタイミングで参加している。

Q. 運営ボランティアはどういう方ですか？

A. 民生委員を中心に地域住民の方がボランティアに協力してくれている。



青葉みらいづくり大学校 2024

第3回 若い世代の思いを知り多世代が参加する地域活動を考えよう！

日 時：11月9日（土）13:00～16:00

場 所：青葉区役所 4階会議室

第3回 概要

次世代を担う学生たちと対話しながら積極的に「参加したくなる地域活動」について考える。
学生たちの意見を参考に、マイプランの種となるアイデアを集める。

第3回プログラム



- 施設紹介
- ワーク
- マイプラン準備シートの説明
- グループワーク
- 感想をシェア



施設紹介

青葉区区民活動支援センター（区役所1階）から、施設の説明と利用方法についての案内、またセンターに登録している活動団体やまち活パートナーズ（知識や技術、経験を生かしたまちづくりに貢献したいボランティア）などの紹介がありました。



青葉区
区民活動支援センター



ワーク：あなたの地域はどんな地域？

■個人ワーク

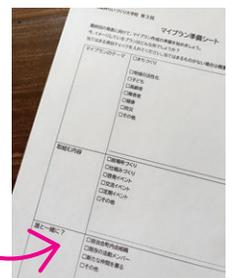
プログラム後半の学生との対話の前に、自分が住む地域を再認識するため、①地域の魅力、②おすすめスポット、③お困りごと、④将来どんな地域になってほしいかを考えシートに書き出しました。

■グループワーク

受講生それぞれの「地域観」を共有しました。美しい街並みや、子育て環境の充実、同世代が多く住む居心地の良さとともに、出身地と比べて近隣の住民同士の関わりが薄いことや、地域の急速な高齢化、子どもたちの居場所が少ないことなどが話題になりました。



マイプランのテーマ
×
取り組む内容
×
誰と一緒に



マイプラン準備シート

マイプラン準備シートの説明

マイプランを作成する準備として、「マイプラン準備シート」の説明を行いました。このシートを使い、マイプランのテーマや内容、誰と一緒に活動するかを具体的に考えました。

青葉みらいづくり大学校 × あおば未来プロジェクトのコラボ

グループワーク

あおば未来プロジェクトの学生とグループワークを行いました。

■グループワークで出た意見

- ① **あなたにとって地域の魅力を教えて**
 - ・暮らしやすく、地域のイベントが多い
 - ・ペットを飼っている人が多くコミュニティがしやすい
- ② **地域活動でのお困りごと聞いて**
 - ・地域でどんな活動をしているのか知ることが難しい
 - ・学校行事や部活、課題が優先となってしまう
- ③ **どんな地域活動なら参加したい？**
 - ・参加者も主催側も楽しんでいて、やりがいがある
 - ・単発の参加やお手伝いができる
- ④ **地域のこともっと教えて**
 - ・学校数の減少。昼間の人口が少なく高齢の方が多い
 - ・夏の水あそびイベント「Uchiwith」など、大学生、社会人でも主催者側になれる行事を開催している

横浜市青葉区青少年の地域活動拠点

あおばコミュニティ・テラス



学校でも家庭でもない青少年の居場所・サードプレイスとして、誰でも自由に使うことができます。中高生、大学生がまちづくりの活動やボランティア活動に主体的に参加し、活動を通じて地域の方々とつながりを持つことができます。

あおば未来プロジェクトとは？

あおばコミュニティ・テラスの事業の1つ。やってみよう！と主体的に参加した中高生が「まちの魅力づくり」や「地域課題の解決」のために1年間活動し、青葉区長への政策提言につなげます。大学生がサポーターとして関わり、中高生の考えを引き出したり、フィールドワークに同行し伴走します。



感想をシェア

グループワーク後、みらい大、あおば未来プロジェクトに分かれ、それぞれコラボした感想を話し合いました。

みらい大受講生の感想

- ・若い世代と短い時間でも交流できて楽しかった
- ・地域に関心を持つ若い世代がこんなにいることに驚いた
- ・決められた活動を手伝うより、自分たちが「やりたいこと」を実践できる場を求めることが分かった

あおば未来プロジェクト学生の感想

- ・大人は豊富な経験を積んでいてすごいと思った
- ・普段関わることがない地域の方々と話すことができた
- ・自分たちと大人が見ている地域や未来の違いを感じた



みらい大生とあおば未来プロジェクトの学生たち



青葉みらいづくり大学校 2024

第4回 人気イベントの魅力を知り<マイプラン>に生かそう！

日時：11月30日（土）10:00～15:00

場所：青葉区役所 4階会議室

第4回 概要

2つのイベント事例をもとに、地域イベントを「主催者の視点」と「参加者の視点」から分析し、参加者が魅力を感じるイベントとはどのようなものかを考え、マイプランの作成に着手する。

第4回プログラム

- ワーク 事例紹介
- みんなでランチ なんでもおしゃべりタイム
- グループワーク
- マイプラン作成のコツを知ろう



ワーク：イベントの事例から学ぼう

事例 1 焼き芋大会

「主催者の視点」で、近隣住民の交流イベントを考えよう

毎年参加者が多く集う人気のイベントは、楽しく参加できる工夫があるのでは？と想定し、ある地域の焼き芋大会を例に人気イベントの運営について考察を深めました。

講師からの気づきポイント

- ・ボランティアが「主体的」に動ける仕組みづくり
- ・交流が「活性化」する場づくり
- ・参加者が「自分事」として楽しめる「余白」のあるプログラム

事例 2 防災訓練

「参加者の視点」で、防災訓練について考えよう

防災意識の高まる中、主催者としてどのようなプログラムを用意するか、一般的な防災訓練にどんな要素を加えていくと参加したくなるイベントになるか意見を出し合いました。

講師からの気づきポイント

- ・災害を想定した「体験」プログラム
- ・防災グッズや防災食の「提供」
- ・消防車の試乗や音楽隊の演奏などイベントとしての「楽しさ」

青葉みらいづくり大学校2024

参加したくなるイベントのポイント

- ・居心地が良い……誰でも歓迎されるウェルカムな雰囲気づくり
- ・押し付けがない……自主性を発揮できる場面づくり
- ・役割がある……困ったときに助け合える対等な関係づくり



青葉みらいづくり大学校2024

意識を高めるためのイベント企画

- ・参加することで必要な情報が得られる
- ・実際に役立つ体験プログラム
- ・地域の人と交流できる場づくり

グループワーク：気づきを共有しよう

主催者目線、参加者目線で事例を見てみることで気づくことがたくさんあり、マイプランを作成する際に参考になる意見を共有することができました。



交流イベントを主催する時に考えたいこと

- ・ボランティアが自分から動ける工夫が必要
- ・企画段階からボランティアが参加することが大切
- ・イベント企画は若い世代のアイデアも取り入れたい
- ・参加者を集めるためにどう「面白く見せるか」
- ・主催者は参加者の中につまらない思いをしている人がいないか目配りが必要

参加したい防災訓練ってどんなもの？

- ・実際に被災したらどうなるのかのシミュレーションがしたい
- ・被災することを自分事と考えられる経験が必要
- ・火を消す、非常食を食べる、簡易トイレを組み立て使う、体育館に泊まるなどの実体験
- ・災害時に身近にあるもので一時をしのぐ食器作り体験など、実際に役立つ体験が求められる



マイプラン作成のコツを知ろう

■マイプランの共有

取り組みたい事業のイメージを1人ずつ発表し共有しました。

■マイプランを作成する際に整理したいこと

1. どんな特徴を持つ地域なのか？
2. 取り組みたい課題は何か？
3. どんな地域資源（人・場所・団体）があるか？

■マイプラン作成タイム

参加者の意識を変えるためのプログラムを地域でどのように実現するかを考え、「マイプランシート」の作成に着手しました。



マイプランの種を形にする

個別相談会

日時：12月14日（土）
10:00～13:00

場所：青葉区役所4階会議室
相談者：4名

希望者を対象に相談会を実施、
マイプランのブラッシュアップ



青葉みらいづくり大学校 2024 マイプランシート 氏名：																															
地域	〇〇連合 自治会町内会名：〇〇町内会																														
プラン名	みんなの食堂（事業の名前）																														
このプランに 取り組む理由	個食の時代、大勢でご飯を食べることで顔見知りが増え……																														
プラン内容	高齢世代、子育て世代、子ども世代と一緒に夕食を食べる月1回開催の地域食堂																														
こうなったらいいな という地域の未来	食事を共にすることで、地域に顔見知りが増え、気軽に声を掛け合える、ゆるやかにつながる地域にしていきたい																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>連携のイメージ</th> <th>プラン実施に必要なモノ</th> <th>あおほスタート補助金</th> <th>実施予定時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 自治会町内会</td> <td>会場の提供、寄付、協力の呼びかけ</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 活動場所・会場</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 活用したい</td> <td><input type="checkbox"/> 2024（令和6）年度</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 地域の団体・組織</td> <td>近隣のNPOとの協働など</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 活動資金</td> <td><input type="checkbox"/> 相談したい</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 2025（令和7）年度</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 個人・ボランティア</td> <td>ボランティア募集など</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 仲間</td> <td><input type="checkbox"/> わからない</td> <td><input type="checkbox"/> 2026（令和8）年度</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 行政機関（区役所、警察、消防署）</td> <td>広報や補助金、助言や支援など</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> <td><input type="checkbox"/> 必要ない</td> <td><input type="checkbox"/> 未定</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> その他</td> <td>既存の民間団体、ネットワークとの連携</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		連携のイメージ	プラン実施に必要なモノ	あおほスタート補助金	実施予定時期	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会町内会	会場の提供、寄付、協力の呼びかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 活動場所・会場	<input checked="" type="checkbox"/> 活用したい	<input type="checkbox"/> 2024（令和6）年度	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の団体・組織	近隣のNPOとの協働など	<input checked="" type="checkbox"/> 活動資金	<input type="checkbox"/> 相談したい	<input checked="" type="checkbox"/> 2025（令和7）年度	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・ボランティア	ボランティア募集など	<input checked="" type="checkbox"/> 仲間	<input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> 2026（令和8）年度	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関（区役所、警察、消防署）	広報や補助金、助言や支援など	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 必要ない	<input type="checkbox"/> 未定	<input checked="" type="checkbox"/> その他	既存の民間団体、ネットワークとの連携			
	連携のイメージ	プラン実施に必要なモノ	あおほスタート補助金	実施予定時期																											
<input checked="" type="checkbox"/> 自治会町内会	会場の提供、寄付、協力の呼びかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 活動場所・会場	<input checked="" type="checkbox"/> 活用したい	<input type="checkbox"/> 2024（令和6）年度																											
<input checked="" type="checkbox"/> 地域の団体・組織	近隣のNPOとの協働など	<input checked="" type="checkbox"/> 活動資金	<input type="checkbox"/> 相談したい	<input checked="" type="checkbox"/> 2025（令和7）年度																											
<input checked="" type="checkbox"/> 個人・ボランティア	ボランティア募集など	<input checked="" type="checkbox"/> 仲間	<input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> 2026（令和8）年度																											
<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関（区役所、警察、消防署）	広報や補助金、助言や支援など	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 必要ない	<input type="checkbox"/> 未定																											
<input checked="" type="checkbox"/> その他	既存の民間団体、ネットワークとの連携																														
実施に向けた大まかなスケジュール（イメージ）																															
時期	R6.12月 R7.2月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月																														
取り組むこと	準備会スタート ボランティア募集 補助金申請 実施 実施 実施 実施																														

マイプランシートの記入例



青葉みらいづくり大学校 2024

第5回 <マイプラン>を発信してスタートしよう！

日 時：12月21日（土）10:00～13:00

場 所：青葉区役所 4階会議室

第5回 概要

マイプランを発表し、プランの実現に向けてスタートする。交流会で地域の頼れる味方を増やす。

第5回プログラム

- 第1部 ■ マイプラン発表会
- 卒業式
- 第2部 ■ 交流会
- 第3部 ■ ふりかえり 今後のサポートについて



第1部 マイプラン発表会

各地区連合自治会町内会長、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等の方々をお迎えし、マイプラン発表会を行いました。受講生は、このプランに取り組む理由、実施する内容、こうなったらいいなという地域の未来について発表しました。出席された皆様からは、受講生への応援メッセージをいただきました。

■ マイプランの概要

奈良町連合自治会 石橋さん

子ども会を作ろう

自治会内に子ども会が無いので、子ども達が色々体験でき、親子ともに楽しめ、思い出作りができる場を作りたいです。季節に合わせた催しや高齢者・地域の方との交流の場も設け、年齢・環境にとらわれず、気軽に挨拶でき、いざという時に助け合える地域にできたらいいなと思います。

中里北部連合町内会 井上さん

復活！！おみこしわっしょいプロジェクト！！

幼い頃楽しかった「おみこし」を復活させ、老若男女と一緒に楽しめる思い出をつくるプロジェクトを立ち上げます。大人が本気で楽しむ姿を子ども達に見せたいです。プロジェクトを通じ、地域の歴史や良さを知り、つながりを深め、大人も子どもも安心して暮らせるあたたかい地域にしていきたいです。

美しが丘連合自治会 蒲田さん

子ども手仕事カフェ

家庭以外の場所でほとんどの時間を過ごす子どもが増えています。勉強以外の「暮らす」ことに視点を置いた子どもの居場所を提案します。ふらっと来て過ごすこともでき、手仕事は工作、手芸、調理を月替わりで実施します。子どもが安心して過ごせる、生きる力が育つ地域にしていきたいです。

奈良町連合自治会 辰巳さん

奈良5丁目 みんなでいっしょに作るきれいな町 ○○ロードプロジェクト

町内アンケートで希望が多かったちょっとした休憩場所としてのベンチを設置し、幅広い世代が交流できるコミュニティを作ります。メイン道路に、まずは来夏「はるかのひまわり」ロードをつくり、翌年には住民の意見を聞きながら違う花を植え、継続的に○○ロードを作り、街並みを「みんなでいっしょにつくる」ことを目指します。

恩田連合自治会 中村さん

災害時のお役立ちマップ（AED マップの作成）

助かる命を救うために、AEDは簡単に使用できることをアピールし、AEDの認知を図っていきたいです。田奈駅周辺のAEDの設置場所や災害対応自販機等を記載したマップを作成し、郵便局に掲示します。将来はデータ化して広く情報提供し、地域の方に防災への備えを考えていただく一助になればと思います。

すすき野連合自治会 町野さん 丸山さん

地域を結ぶ～すすき野オレンジネットワークづくり～

高齢化率が高いすすき野地区で、様々な高齢支援の活動と連携し「お困りごと」対策を行います。「すすき野チームオレンジ」（ボランティア）を結成し、困っている人を適所につなぎ、買い物支援や地域の居場所づくりを行います。日常のお困りごとに寄り添い、「温かいぬくもりを感じる地域」にしていきたいです。

青葉台連合自治会 吉田さん

横浜18区内犬の登録数ナンバーワンっ！「あおばペット防災～愛犬編」

もしもの時に家族である愛犬を守るため、「ペット防災認知度アンケート」を実施し、飼い主、非飼い主双方の意見を集めます。防災ミーティングの開催や、獣医師などの専門家と連携して被災時ペット受け入れマップを制作します。「ご近助」で人とペットが共存できる地域防災をつくっていききたいです。

**卒業式**

卒業式では、久保田学長、中島副学長からご挨拶がありました。久保田学長からは、マイプランの地域での取組にあたって、地域の方々とも連携を図りながら活動を進めてほしいと受講生にメッセージがありました。



発表会参加者からの応援メッセージ（一部抜粋）

- ・高齢化が進む中、地域でネットワークを作ることは大切です。地域全体でこの機運が高まると良いですね。
- ・具体的な取組で分かりやすいです。「助かる人の命」を助ける。大事なことなので、ぜひ推進してほしいです。
- ・子どもたちを取り巻く環境やライフスタイルは日々変化していきませんが、心のよりどころになるような場所になるよう応援します。
- ・幼児期の体験が基盤となっていること。私も同じです。地域行事が減少する中、ぜひ頑張ってください。



応援メッセージをいただきました

第2部 交流会：地域の頼れる味方を増やそう！

活動エリアごとにグループになり交流会を行いました。自己紹介のあと、マイプランの感想を共有し、実現に向けたアドバイスやアイデア、地域情報について活発に意見を交わしました。

第3部 ふりかえり 受講生の感想（一部抜粋）

皆さんからいただいた応援メッセージを読み、講座をふりかえり感想を語り合いました。

色々な方と話をしていくうちに、出来るかもという思いとなり、今は本当に実現したいという気持ちが強くなりました。

皆さんのポジティブな考え方にたくさん触れることができ、悩みや少し弱気な気持ちが前向きになりました。

同じ地域で何かやろうという気概がある方々と会えたことが1番の財産になったと思います。

自分の視野も広げられ角度も変えられたので、日常生活でも生かせると感じました。普通なら出会えない皆さんと会えたことが嬉しかったです。

学んでいくうちに自分がやりたいことが少しずつ見えてきて、自分の成長に繋がったと思います。



講座の感想をシェア！

これからがスタートであり、必ず実施できるようにしたいので皆さん、協力よろしくお願いします。

一緒に学んでいただいた方々と、講師の叱咤激励(笑)のおかげで充実していました。

卒業生の皆さん
応援メッセージを手に



NPO 法人まちラボから



みらい大は、ただマイプランを作成するだけの講座ではなく、講座終了後の実践に向けて、協力できる地域の仲間と出会うための講座でもあります。卒業生の皆さんのマイプランはすでにそれぞれの地域でいくつか実践されています。地域の垣根を超えたネットワークも生まれています。みらい大受講生の皆さんは「地域活動の可能性と楽しさ」をたくさんの方に伝えてくださるメッセンジャーだと感じています。これからも受講生の皆さんの取組を応援していきます。